

会報

全国国公立幼稚園・こども園長会

主な内容

各部・委員会報告
各プロジェクト活動報告
令和二年度
全国大会予定



日本の未来のために 国公幼の存在意義を発信する

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 新山 裕之



無償化の波

令和元年十月から、幼児教育・保育の無償化が始まり、国公幼は今までにない大きな影響を受け始めています。長時間保育を希望する保護者が増え、少子化や財政難から、適正配置について話題になり始めている自治体もあります。一方で人材不足は深刻さを増し、全ての幼児に質の高い幼児教育を提供するために優秀な保育者を確保することが難しくなり、処遇改善や働き方改革も早急な対応が求められる状況となっています。

国公幼の存在意義

質の高い幼児教育のためには、幼児にふさわしい環境を整え、幼児が興味を示して働き掛けて始めた遊びに寄

り添い、その遊びの中で育ち、学んでいることを見極めていく保育者の鋭い洞察力や高い指導力が必要です。国公幼は、日本初の幼稚園の誕生から一四〇年以上、幼児と共に遊びや生活を創り出す日々の実践と省察を積み重ね、組織的な研修や研究体制を整えて、幼児教育の本質を追求し続け、保育者の指導力の向上を図ってきました。実践的な研究と研修を通して、理論に裏付けられた実践を進めている点が、国公幼の大きな強みです。

各地に増え始めている幼児教育センターや幼児教育アドバイザーは、幼児教育の質の向上や幼小の接続を推進していく拠点として、各地に確実になくなってはならない施設や役割となってきました。そこで指導的な立場を担う人材を育成し、輩出しているのは、ほとんどが国公幼です。先進的な研究を率先して実践する国公幼を地域の核として存続させることで、国や都道府県レベルでの施策の推進や幼児教育の質の維持・向上を確実に図ることができます。

今こそ積極的な発信を

保護者や地域住民、行政関係者等に向けて、幼児教育の専門家として、何より子どもの代弁者として、子ども

もの育ちや幼児教育の重要性について発信することは私たちの使命です。小学校教育との接続については、小学校以上の教育と共通の枠組みを使いながら、幼児教育としての特性も含めて分かりやすく説明する責任があります。地域のよさを生かし、ふるさとを愛する心を育てること、特別な支援が必要な幼児や外国籍幼児など、地域の様々な子どもたちを受け入れ、多様性を生かした実践を進めていくことも、国公幼の重要な存在意義です。

幼児教育の魅力を次代に

今年度は国公幼創立七十年の記念すべき年であり、「七十年のあゆみ」も作成しています。この記念誌は、大きなうねりの渦中にある幼児教育の海において、私たちがよりよい航路を見付け、国公幼という船をしっかりと前進させるための羅針盤となることを意図し、本会の歴史や先輩方の努力を学ぶために作成するものです。一人一人に寄り添いつつ、集団としての育ち合いの力を生かして、子どもたちと共に遊びや生活を創り出し、育んでいく営みを通して、私たち自身が育ててもらってきたはずです。次代を担う先生方が、保育者という仕事に魅力ややりがいを感じ、自信をもつて取り組んでくれたら、この上ない幸せです。日本の未来を支える幼児教育の充実・発展を図るために、全国の皆さんと心を一つにし、これまで以上に前向きに力を尽くしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。